



“やさしいまちづくり” 地域から



新春を迎えました。子どもたちの元気な笑い声が聞こえます。
子どもの笑顔があふれるまちは、誰にでも優しいまち。
そして、ずっと住みたいまち。
ことしも社協は地域のみなさんとともに、そんな素敵なまちづくりを進めて
まいります。



- ・隣近所で支え助け合う地域づくり…… 2 P
- ・広がる地域のふれあい……… 3 P
- ・視覚障害者と小学生が交流
- ・ボランティア情報「こてまり」… 4～5 P
- ・ふくしかわらばん……… 6 P

平成20年 No.177
1月1日号



ふれあいネットワーク



社協

まつもと

発行 社会福祉法人 松本市社会福祉協議会 電話 27-2000
編集 社協まつもと編集委員会 FAX 27-2239
E-mail:syakyoun@avis.ne.jp http://www.syakyo-matsumoto.or.jp

隣近所で支え助け合う地域づくり

近年、自然災害が頻繁に発生しており、特に十三年前の阪神・淡路大震災以降、大規模な地震や風水害が各地で起こっています。

災害から身を守り、被害を最小限にとどめるためには、防災・減災への意識を高めるとともに、日頃からの隣近所でのお付き合いと、支え合い助け合う活動が、とても大事になります。

昨年の能登半島地震、新潟県中越沖地震の被災地においても、常日頃隣近所の付き合いや福祉活動が活発な地域では、安否確認や避難誘導、また避難所生活での助け合いがスムーズに行なわれていました。

「糸魚川 静岡構造線系断層帯」がある松本は、大規模地震の発生確率が高いと言われています。

今、各地区や町会で日常の地域づくり・福祉活動と地域防災を併せた取り組みが行なわれていますので、その様子を写真で紹介いたします。



松本市社協による被災地復興支援活動
(柏崎市西山地区)



子どもたちも一緒に危険箇所等の点検
(松南地区双葉町)



中学生も救急法を学ぶ
(松島中学校)



いざというときのための炊き出し訓練
(田川地区)

松本市社協防災福祉のまじり合いをお手伝いします

次のような内容を希望される場合は、ご連絡ください。

- ・ 防災訓練、炊き出し訓練、救急法講習会等の支援
- ・ 災害時住民支え合いマップづくりの出前講座

- ・ 非常用持ち出し品や減災対策の紹介
- ・ 学校、企業等での高齢者疑似体験や車椅子体験の実施など

また、万一災害が発生すれば、各地から駆けつけてくるボランティアと被災地の復旧に向けたニーズ(要望)を結びつけて調整する「災害ボランティアセンター」を設置運営します。

「福祉に強いまちは、災害に強いまち」と言われています。安全で安心して暮らせる地域づくりをみんなで進めましょう。

笹賀地区

空港東町会



マップづくりを通して地域を点検

笹賀地区は、未曾有の自然災害などに備え、平常時からの地域の支え合い意識が高まり、空港東町会を皮切りに「災害時支え合いマップ」づくりに取り組んでいます。

マップづくりには、社協の出前講座を利用して、地域における情報共有の大切さや、日頃からの、隣近所のつながりの必要性、住民の合意形成の大切さについて学びました。

マップづくりを通して、地域を知るよい機会になっています。

【問い合わせ】

松本市社協 地域福祉課

電話 二五〇七三二一

二七一一三三八

広がる地域のふれあい

十一月四日に、里山辺地区で第三十三回里山辺文化祭「福祉ふれあいフェスティバル」が開催されました。

当日は、野外での模擬店をはじめ、屋内では作品展示やステージ発表が行なわれたほか、子どもから大人まで楽しめる催し物がたくさんあり、大勢の人で賑わいました。地区の民生委員が企画した風船あそびコーナーでは、風船に市販のビニールテープを巻いて、しほみにくく、より弾むように工夫をして遊び、訪れた子どもたちに大好評でした。

里山辺地区



風船の準備をする子どもたち

梓川地区



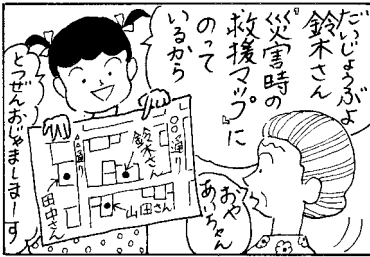
「遊びの達人」の指導のもと、リサイクル飛行機づくり

梓川地区社協では十月二十七日に地区文化祭と合わせて「福祉のつどい」を開催しました。

文化講演会・世代間交流、共同作業所「ほほえみの家」や、福祉関係者の作品展示・販売など多彩な内容でした。世代間交流では、地区内の「遊びの達人」と呼ばれる大人と子供たちが、使用済みトレーを使い、リサイクル飛行機づくりに挑戦。完成後は、フライトコンテストを行ない、参加した親子と地区の達人と一緒に楽しみ、交流を深めました。住民が参加しやすい催しで、福祉への関心を高めるよい機会となりました。

あいちゃん

作 上原ゆう子



視覚障害者との交流・疑似体験

言葉だけでは伝えきれない。そんな体験学習ができました。

信州大学教育学部

附属松本小学校

四年西組

担任教諭 滝澤 勇一

4年生の国語の教科書に「手と心で読む」という「点字」について書かれた話が紹介されています。その話を読み、点字学習をしました。そうした中で、実際に視覚障害をお持ちの方との出会いを通して、子どもたちが考える場をつくることのできたらと思いい、社協にお願いして福祉体験学習を行ないました。

前半は視覚障害者疑似体験。ペアになって、視覚障害者役と介助者役になって体験しました。普段生活してよく知っている学校ですが、「見える世界」がなくなり、怖さや不安など、わずかな時間でしたが、「見えない世界」を子どもたちが



視覚障害者疑似体験を行なう4年西組の児童



中田さんのお話を聞く

は感じる事ができました。後半は、視覚に障害をお持ちの中田芳典さんをお招きして、お話を伺ったりゲームをしました。ふれあいの最後には、音楽が大好きという中田さんの歌やピアノ演奏を聴きました。演奏を真剣に見つめる子どもたちの姿や、演奏後に送った拍手は、嘘のない本当のものだと感じました。

子どもたちの感想には「前向きに生きること、がんばれば何でもできること、自分が楽しくすれば周りも元気になること」を教わった、とありました。単に「すごい」ではなく、出会いを通して障害の有無にかかわらず「変わらない」という感じ方を中田さんとの出会いから学びました。またお招きして一緒に歌い、笑いあう機会をつくっていただけだと考えています。

「こてまり」はこんな情報を発信しています!

- ・ボランティア活動についての情報
- ・活動者、団体の紹介
- ・講習会や行事の紹介 など

<申し込み/問い合わせ>

松本市社会福祉協議会内ボランティアセンター
TEL(0263)25-7311 FAX(0263)27-2239

ボランティア情報 こてまり

ボランティア活動紹介



～お年寄りらを癒すアニマルセラピー～ 『長野県動物愛護会松塩筑支部』

長野県動物愛護会松塩筑支部（林一郎支部長、事務局・松本保健所食品生活衛生課内）は、訪問した施設のお年寄りや入所者が動物と触れ合うアニマルセラピー（動物介在療法）を続けています。先ごろ、松本市中山のローズガーデンで行われた活動を見学しました。



子牛ほどもある大型犬から、お年寄りも抱ける小型犬までが、飼い主とともに訪問。最初に、ロープを飛び越えたり、飼い主の指示で伏せたり、走るなどの“芸”を次々に披露してお年寄りを楽しませました。



続いて、飼い主に引かれた犬が、ゆっくりと会場を回り、お年寄りひとりひとりと触れ合いました。頭や体をなでたり、ひざにのせて話しかける人や、昔飼

っていた犬を思い出して話す人などがいました。この触れ合いで、お年寄りたちが癒されます。犬を見たとたんにこやかになる人など、会場が和やかな雰囲気になります。「触れ合いができるようにしつけ、衛生面での安全管理もしっかりやっています」と、林支部長。

これからも多くの施設で心なごむ活動を続けていっていただきたいと思います。

ボランティアに興味のある方、全員集合

松本市ボランティア交流集会

日時：平成20年2月2日(土)
13時～16時30分

場所：松本市総合社会福祉センター
4階大会議室

詳細は、後日、新聞やチラシで
お知らせします。

〈対象となるもの〉

- ①アルミ缶 ②プルタブ
- ③使用済切手 ④書損じハガキ

回収しています!

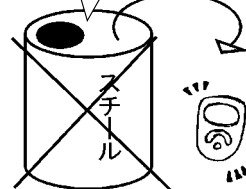
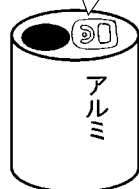
みな様に集めていただいたものは換金され、社協のボランティア事業に使われます。常時、社協で受け付けています。

ーおねがいー

プルタブは付けたままで。

スチール缶は回収できないので、プルタブのみ切り離して集めください。

封筒から切り取る際、切手の周りを5ミリ程残して。



ボランティア活動紹介

—— 楽しく交流を続けて11年 —— 『交差点』

松本地方の若者らで作るボランティアグループ『交差点』（小林慶大代表）では、10年前から松本養護学校宿舍の寄宿生との交流会を毎月行なってきました。工作、盆踊り、お化け屋敷、レクリエーション、紙芝居、星の観察会など、今年も色々な催しを実施したそうです。活動の目的(特徴)は、お互いが楽しみながら感動を共有して、理解し合える人間関係を築き、よりよい社会にしていきたいということです。

しかし、代表の小林さんが抱える最大の悩みは、活動メンバーが少なく社会人サークルということもあり、時として仕事で活動ができなくなってしまうことだそうです。以前は月2回交流会をしたことがあるそうですが、最近では月1回でも、ぎりぎりのメンバーで開催しているということです。一緒に活動してくれる人を募集中で、寄宿生との人間関係を築いていくために継続して活動してくれる方であれば、どなたでも歓迎したいそうです。



託児ボランティア登録者募集

子育て中のお父さん・お母さんに、講演などの催しにゆつくり参加してもらうために、催し会場で託児に協力してくださる方を募集します。

ボランティアセンターには様々な主催者から託児依頼があります。その都度、登録者にお知らせしますので、都合がつく場合にご協力ください。乳幼児の世話が好きな方、歓迎します。ただし、面談の上、登録とさせていただきます。

ボランティア募集

申し込み・問い合わせはボランティアセンターまでお気軽にどうぞ。

	会場	日時	ボランティア内容
1	松本圏域障害者相談センター あいあい、Wish、ぴあねっと・まつもと	1月20日(日) 時間は未定	「新年交流会」 会を一緒に楽しんで、盛り上げてくださる方。
2	*会場は未定ですのでボランティアセンターへお問い合わせください。	2月23日(土) 時間は未定	「みだしなみ講座」 お化粧・整髪の練習を手伝ってくださる男性、女性。
3		3月15日(土) 時間は未定	「運動」 軽い運動を一緒に楽しんでくださる方。
4		3月15日～30日で 都合のよい時	「年度末大そうじ」 施設内清掃、庭の草取りなどをお願いします。
5	介護老人保健施設 山望苑(新村)	月火金土13時半～15時 で都合のよい時	「話し相手」 入居者の話し相手をお願いします。
6	長野県寿台養護学校(寿豊丘)	月～金9時～16時で 都合のよい時	児童との交流、教育活動の介助、読み聞かせ、楽器の演奏、歌、陶芸、農作業、園芸などをお願いします。
7	グループホーム りんごの樹(石芝)	毎日13時～16時で 都合のよい時	「入居者との交流」 どなたでも気軽にどうぞ。小さなお子様連れも大歓迎。
8	介護老人福祉施設 サルビア(梓川倭)	毎月第4土曜日 14時～15時	「絵手紙クラブの手伝い」 入居者と一緒に絵手紙クラブに参加してくださる方。
9		月水10時半～11時半 で都合のよい時	「散歩の付き添い・話し相手」 できれば月1回～定期的に来ていただける方。
10	グループホーム やすら木の家(島立)	都合のよい時にいつでも	「散歩の付き添い・話し相手」 入居者と楽しく交流していただきたいです。
11	デイケア(通所リハビリテーション) 上條記念病院(芳川村井町)	月～土9時～16時 で都合のよい時	利用者の入浴後のドライヤーかけ、話し相手、車イス移動の手伝い、レクリエーション手伝いなど。

ふくし・かわらばん

「在宅介護者の集い」参加者募集中!

コース	実施日	行き先	締め切り日
D	2月20日(水)	浅間温泉	2月6日(水)

☆対象 日頃、在宅で要介護高齢者の介護をされている松本市在住の方。
 ※1世帯について1名の参加が原則となります。
 ※申し込み多数の場合、新規の方を優先させていただきます。

☆定員 25名
 ☆参加費 1,000円
 ☆申し込み・問い合わせ
 地域福祉課 (☎25-7311・27-3381)



心身のリフレッシュのほか、参加者の皆さんで情報交換を行ないます

育児ママヘルプサービスのご案内

育児ママヘルプサービスは、産後、核家族等で昼間の育児協力が得られず、育児等が不安または困難な方に、助産師・ヘルパー等が訪問して、育児に関するお手伝いをします。(利用にあたっては、申請が必要になります。)

- 《申請できる方》 松本市にお住まいで、核家族等で産後の育児協力者が得られない方など。
- 《サービスの内容》 育児に関する援助や、お母さんの健康に関する相談・助言、育児にかかわる家事援助など。
- 《利用期間・時間・回数》
 産後、退院した日から90日間に20回まで利用できます。
 午前9時から午後5時(土・日・祝祭日・年末年始は除く)
 1日の訪問回数は、助産師・ヘルパーそれぞれ1回まで。
 (1回の利用は2時間以内)
- 《利用料金》 1時間 800円 (30分超過につき400円加算)



ゴミ出し援助サービスの協力会員を募集しています

北部地区センターでは、高齢者や障害をお持ちの方などが、より快適な在宅での生活が送れるように、地域のみなさんの助け合いによるゴミ出し援助サービスを行なっています。
 申し込み・問い合わせは、いずれも北部地区センターまで ☎38-7670

リニューアル
しました!

社協ホームページをご覧ください

暮らしに役立つ福祉の情報がいっぱい

松本市社会福祉協議会のホームページアドレスは
<http://www.syakyo-matsumoto.or.jp>

